

飯能市教育振興基本計画「新たな時代を 豊かな学びで創る 飯能教育 挑戦・創造 ～学びの改革～」

学びの共同体が創る「21世紀型の学校」を目指し、

一人の漏れもなく質の高い学びを保障する「学びの改革」に挑戦

子どもたち・教職員が学び育ち合う、保護者・地域に誇れる学校

～ 一人の漏れも無い、子どもの「笑顔」と「質の高い学び」の実現 ～

目指す学校像

○子どもたち・教職員が学び育ち合う、保護者・地域に誇れる学校

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領

目指す児童像

学校教育目標

学び合う子(知)
支え合う子(徳)
たくましい子(体)

目指す教師像

○子どもを信頼・尊敬する教師
○学びの専門家としての教師

○児童の実態
○保護者の願い
○教師の願い
○地域の願い

学校経営方針(重点と方策)

学校は、子どもが日々成長する場であり、学校の主役である子ども主体の教育活動が展開される場である。そこで、学校経営の根幹を子ども中心に据え、おだてる（認め、ほめ、伸ばす）教育を推進し、学び合い、支え合い、たくましい児童を育成する。今年度の合言葉は【しっとり】。

〔1〕学びの改革の推進《創造的、探究的、協同的な学びの実現》

- 誰一人子どもを独りにせず、学びの質と平等を保障する授業
 - ・45分間、子どもたちが夢中になって学ぶ授業【挑戦のある学び（ジャンプの課題）】
 - ・聴き合い、学び合う関係づくり【しっとり】
 - 【コの字型机配置】【ペア学習（低学年）・グループ学習（中・高学年）】
 - ・つまづきや分からなさを共有し、そこから出発する学び
 - ・分からないことを「分からない」と言える教室
 - ・タブレット端末活用の適切な判断
- 全ての教職員が同僚性をもって謙虚に学び合う学校研究

- ・学力観の転換（覚えている→問題を解決できる）
- ・全ての教職員の年1回の授業研究
- ・子どもが学ぶ姿から学ぶ研究協議
- ・指導案の簡略化（形式→実質）

〔2〕誰もが安心して生活できる生徒指導・教育相談・生活指導

- 誰一人独りにしない学級づくり
- 困難な児童に寄り添う教育相談
- 「自分がされて嫌なことは友達にしない」を基本とする生徒指導
- 静かな声のトーン・廊下歩行・清掃【しっとり】
- あいさつ、会釈【教職員・保護者の共通理解・行動によって】

〔3〕誰一人独りにしない、支え合う職員室づくり《風通しのよい職員室》

- 主任を中心に計画し、全職員が協働する校務分掌
- 全方向の報告・連絡・相談
- 子どもの明るい話題で溢れる職員室
- 困ったときに困ったと言え、悩みや問題を共有する職員室
- 謙虚に学び合う職員集団

じょうず！



教師の行動目標

そだてることは

Sodateru

おだてること

さすが！



Smile Study Speed Standard Scrap&build